



岡山市立足守中学校 学校だより第6号

未来に羽ばたこう!

平成29年6月16日発行



人のつながりが子どもを育てる

6月は、緑も濃く紫陽花が一雨ごとに冴える季節です。規則的な生活習慣を心がけ、「晴耕雨読」という言葉のように、雨の日は、室内で読書や学習に取り組む生活していきたいものです。

さて、生徒のみなさんは、どのクラスも落ち着いて学習に取り組んでいる姿が見られています。一方で、委員会活動や部活動等で活躍している様子も見られ、うれしい限りです。張りのある声、輝く瞳を大切にしながら1学期後半に臨みたいと思います。

平成29年度 岡山県知事表彰 環境衛生『環境衛生改善事業功労・団体』（3団体）

この度、足守中は、長年にわたって地域のみなさんに支えられながら、環境に関する取組を継続してきた団体として高く評価され、県知事表彰を受賞しました。

去る、5月24日に岡山コンベンションセンターで表彰式が執り行われ、生徒会長の今井君が代表として出席しました。主な、受賞理由としては、地域学習によるESDの視点に立った数々の研究発表、長年にわたる地域での環境整備活動、科学部を中心とした環境に関する研究調査活動などがあげられました。先輩のみなさんから受け継がれてきた取組を継続させた結果だと思えます。今年度もすでに在校生のみなさんは、足守中の伝統として受け継がれてきた数々の取組を実践しています。今後も先輩方の業績を受け継ぎながら、新たな視点でこれまでの取組を発展させていきたいと思います。



防災教育への取組

6月8日（水）に、雨天のため順延となった第1回目の避難訓練は、グランドコンディション不良のため、各クラスで、校内で火災が発生したという想定での避難経路の確認を行いました。

さて、災害は、「いつ」「どこに発生するか」わかりません。しかし、いざ災害が発生したときに「何が重要」かがわかっていけば慌てる必要はありません。では、「何が重要」でしょうか。それは「命」です。「命」が大切だから、早く逃げる。「命」を守るためには、将棋倒しになってはいけません。だから、避難の時は押さないのです。喋ってはいけません。指示や情報が伝わりません。他の人の「命」まで脅かすこととなります。「命」を守ることができないから喋ってはいけません。カバンや教科書などで頭を守るのは、物が落ちてきて頭に刺さるのを防ぐためです。すべて、「命」を大切にするという考えです。

わが国は、世界有数の「災害大国」です。災害に立ち向かうためには、一人一人の防災の力を高めていくことが必要です。本校では、今後起きるであろう災害に立ち向かう今の子どもたちの世代が、自分を守り、お互いに助け合っていくことができる「防災教育」をすすめていきたいと考えています。

生徒総会

6月14日（水）

「Link」～つなげよう足守中学校の伝統と絆～

6月14日（水）に生徒総会が開催されました。生徒会執行部のみなさんから活動方針や予算案の提案があり、事前に行われたクラス討議を受け、各学年から数名が質問や意見を出しました。総会での意見交換は、みなさんが「自治の力」を身につけていく上で大切な活動です。これからは、執行部のみなさんを中心にして足守中を盛り立てていってください。

生徒会活動は、生徒のみなさんの「成長したい、学びたい」という願いを実現する取り組みです。そのためにも一人一人の智慧と力をもち寄ることがなにより大切なことです。

生徒会は「自治の力を育て、足守中をよくするための会」です。

この意義ある会の一員として、協力し意欲をもって前進しましょう。



1学期前半の取組から

新年度開始から2ヶ月という短い間でしたが、生徒のみなさんは、この間多くの人と出会い、新しい人のつながりができたことでしょうか。特に校外での学習は、子どもたちをひとまわり成長させることができる貴重な学習の場です。「知識基盤社会」の到来といわれてから久しいですが、実際に世の中には、学ぶべき新しい知識・情報・技術が増大しています。同時に、複雑化する社会の中でたくましく生きていく力を育てることがますます重要視されています。家庭、学校、地域それぞれに、子どもたちの学びや日々の育ちを支える環境、人間的なつながり、豊かな体験などが用意されています。その、環境の中で、人間関係を築き、課題を解決していく力を身につけることは、将来の地域を支える人材へと成長する手助けとなり、まちづくりに参画していく力となります。ある本に「まちづくりは人づくり」と書かれていましたが、学校づくりと地域づくりも一体のものといえるかもしれません。

足守中ではこれまで、学校・家庭・地域が子どもを中心に据え、課題や願いを共有し、協働してその解決に取り組む教育を進めてきました。地域とのふれあいは、子どもにとって、豊かな出会いの場であり、学びの場となります。多くのよき人と出会い、自分たちが地域の大人に支えられていることを実感し、社会的な実践力を確かなものとしていくことができるよう今後もご支援をよろしくお願いいたします。



家庭の日

毎月第3日曜日は家庭の日です。家庭の日には、それぞれ工夫して健康で明るい一家団らんの日を過ごしましょう。